

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 293

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向け Web セミナー） 第 1 回「自動車部品の製造工場における安全教育」（会員限定）

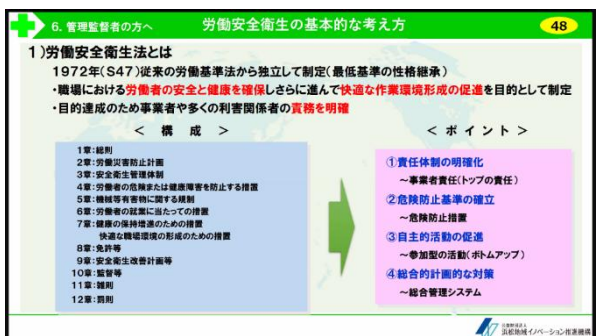
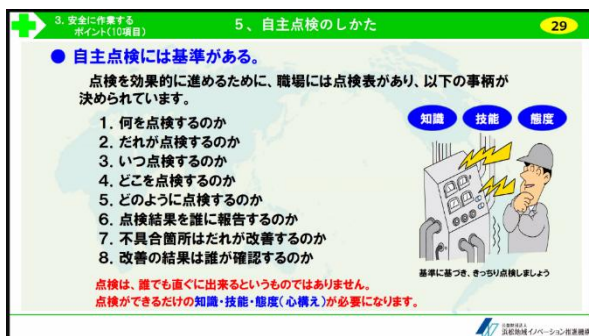
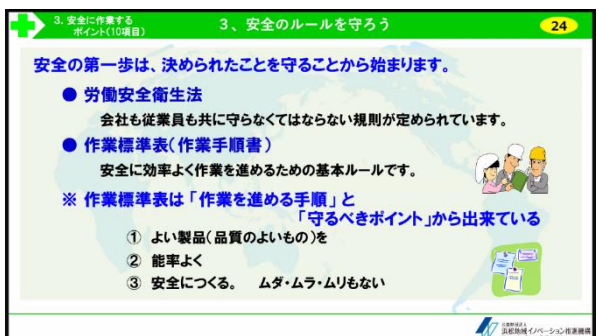
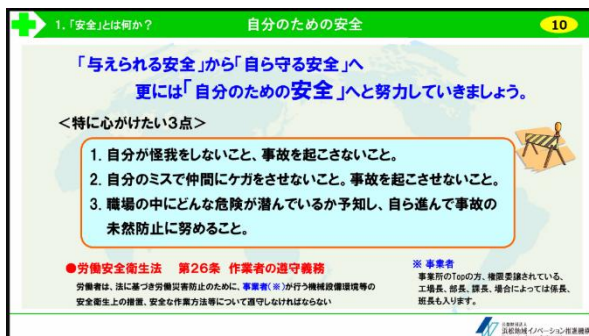
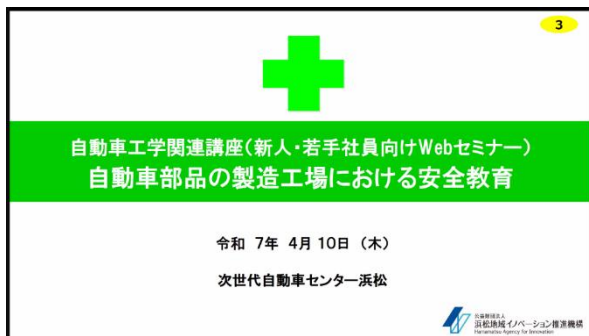
次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の十分な教育ができずにお悩みの会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため、自動車工学関連講座新人・若手社員向け Web セミナーとして、「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での 5 S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の 4 回連続講座を開催します。

今回は、第 1 回として、日常の生産活動において、企業の礎と言われている「安全」については、工場で働く新入社員や若手社員の皆様にとっては最も基本的な事項を理解して身につけていただき、また、管理監督者の皆様には法律上からの責務の重さを再認識していただく安全集合研修としてご活用いただくため、当センターの望月センター長の開講の挨拶に続いて、隅田技術コーディネーターが講師となって、「自動車部品の製造工場における安全教育」Web セミナーを開催しました。

■ 日 時： 2025 年 4 月 10 日（木）13 時 30 分～14 時 40 分

■ 場 所： Web 形式

■ 参加者： 58 社／326 名



【参加者の声】

- ・働く環境には危険要素が沢山あり、少しでもリスクを低減するための方法や常に心掛けていなければいけないことを学ぶことができた。災害・事故の発生防止に向けた取り組みについて学ぶことができた。
- ・社会人としての安全知識や安全保持の習慣を持っていないので、大変実りのある時間になった。今回学んだことを業務に活かし、意識して安全保持に努めたいと思った。
- ・社会人としての安全に関する知識や習慣が身につけているとは言えないため、それらの知識を学ぶ機会として大変参考になった。日常生活の中で「うっかり」や「省略」など、現場で事故につながるような行動をしてしまっている覚えがあった。本セミナーで学んだことを活かし、日常での行動を反省し、自身だけでなく企業や社会の安全保持に努めたい。
- ・製造業の労働災害で挟まれ、転倒、墜落が多いことがわかった。このくらいなら大丈夫だろうという思い込みや省略して作業を行うなど自分の不注意・知識不足によって起こる労働災害もあると思うので、気を引き締めて作業に取り組んでいく。また、非定常作業や異常作業を行うこともあるので、無茶な作業はしないよう気を付けていこうと強く感じた。
- ・本質安全が一番重要、危険のもとを排除する、正しい知識が自己防衛、危険予知、自分の安全は自分自身で守る、4 Sも安全に繋がる、が参考になった。
- ・災害・事故がどのようなプロセスで起こるのか理解することができた。安全に作業するポイント 10 項目を守りたいと思った。
- ・災害や事故の防止は個人の意識だけでなく日常生活も影響していると聞き、日常生活を見直さなければいけないと思った。また、安全作業のための 10 項目のスライドでは気を付けるポイントだけでなく具体例まで紹介されていたため、イメージがしやすかった。
- ・とても良い話を聞けたと思った。安全は自分でつくるもので、一人一人の行動が大切だと思った。
- ・転職して製造業にかかわることで、安全がいかに自分のため、会社のために大切であるかがわかった。身なりなどを整えるということも見た目をよくするためのみではなく、危険から身を守るために必要なことであるとわかった。
- ・安全に作業することの重要性を再認識することができた。安全作業を行う上で決められたことを守ることが自分自身の安全を守ることに繋がる、ということをよく理解し行動していくべきだと学べた。
- ・働く環境には危険要素が沢山あり、100%の安全というものは存在しないことから、リスクを軽減させるために知識を身に着けることが大切である。また、5 Sはできていないと災害が発生しやすくなるため、日頃から5 Sを心がけることによって、事故のリスクを減らし作業の安定性を高めると同時に、作業者のモラルと生産性を向上させる効果がある。
- ・職場で安全に仕事をするために何をすべきでないかを学んだ。特に5 Sは、以前の会社でも実行していたことで、その中でも3 Sの整理、整頓、清掃は、今の作業でも少しずつ実行しつつある。仕事する上での基本になると思った。
- ・全体について非常に参考になった。特に、自主点検においては、個人で点検を行うことで防げる事故が多くあることを学んだ。
- ・人間はミスをする、機械は故障する等の今まであまり考えてこなかったことを再確認できた。窓割れ理論や5 Sの実施、小さな乱れを放置しないなど、すぐに実施できることを知ることができた。
- ・安全への基本的な考え方や心掛けなどの内容が再確認できた。労働安全衛生法の説明を聞き、事業者と労働者のどちらも守るべき責任があることを再確認できた。「割れ窓理論」は新人の意識づけにも参考になり、なぜ5 Sが基本になるのかも納得できる内容だった。